

プロロジス、宮城県富谷町で コープ東北サンネット事業連合専用物流施設 「プロロジスパーク富谷 3」の起工式を挙



物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、このたびコープ東北サンネット事業連合専用物流施設「プロロジスパーク富谷 3」の起工式を宮城県富谷町の同施設開発予定地で執り行いました。

起工式には入居するコープ東北サンネット事業連合 河野 敏彦 専務理事・機関運営担当 兼 物流本部長 兼 品質管理本部長をはじめ関係者の方々、設計・監理を担当する株式会社フクダ・アンド・パートナーズ 福田 哲也 代表取締役社長をはじめ関係者の方々、施工を担当する西松建設株式会社 前田 亮 代表取締役副社長をはじめ関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長 山田 御酒らが参列し、工事の無事と今後の事業の発展を祈願しました。

コープ東北サンネット事業連合は同施設の正式名称を「コープ東北ドライ統合物流センター(CTDC)」とし、宮城県内に所有するドライセンターを集約統合させ、さらなる物流の効率化を実現させます。

■ 開発予定地

「プロロジスパーク富谷 3」は仙台市に隣接する宮城県黒川郡富谷町、東北自動車道 泉インターチェンジから 1km 地点、富谷ジャンクションから 3km 地点に位置しており、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、の東北 6 県をカバーできる物流拠点となっています。

また、「プロロジスパーク富谷 3」は、プロロジスが 2011 年に開発したみやぎ生活協同組合の専用物流施設である「プロロジスパーク富谷 2」の隣地に、コープ東北サンネット事業連合の専用施設として開発さ

れます。開発予定地は仙台地下鉄南北線の泉中央駅から 3.7km 地点にあり、通勤の利便性も高く、宮城県内陸部の地盤が強固な地域にあります。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク富谷 3」は、約 28,700 平方メートルの敷地に延床面積約 43,000 平方メートルの地上 3 階建の専用物流施設として開発されます。1 階と 2 階にトラックバースを設けると同時にスロープが設置され、最大 40 フィートコンテナトレーラーが直接乗り入れることができます。あわせて各階に垂直搬送設備を設け、効率的な物流オペレーションが可能な仕様を予定しています。

また、事業継続性を重視し自家発電装置を導入します。その他、全館 LED 照明の導入、太陽光発電システムの物流施設屋根面への設置など、環境に配慮した施設となります。

プロロジスは、日本の各地域においてお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、今後も物流施設の開発・運営を進めてまいります。

「プロロジスパーク富谷 3」計画概要

名 称	プロロジスパーク富谷 3
所 在 地	宮城県黒川郡富谷町
敷地面積	28,706.1 m ² (8,683.60 坪)
計画延床面積	42,970.73 m ² (12,998.65 坪)
構 造	RC 造、S 造 地上 3 階建
着 工	2014 年 5 月
竣工予定	2015 年 5 月

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do